

## 令和4年第2回香美市議会定例会9月開会会議 市長提案説明

本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和4年第2回香美市議会定例会9月開会会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

また9月4日執行の香美市議会議員選挙におきまして、当選されました議員の皆様、改めてお祝い申し上げますとともに、今後の更なるご活躍をお祈りいたします。

さて議案の説明に先立ち、新たに市議会議員になられた方もいらっしゃいますので、私の政治姿勢や市政運営についての考え方について改めてご説明をいたします。

香美市の大きな方針については、第2次香美市振興計画が最も重要な計画でありまして、今年度から令和8年度までの5年間を計画期間とした後期基本計画がスタートしています。議員の皆様には、この振興計画についての進捗についても、しっかりとご指摘を頂ければと思っていますところ です。

また来年度、令和5年4月よりスタートする、第4次行政改革大綱の策定に向けた準備を進めております。この行政改革大綱ですが、先ほど述べた香美市振興計画の推進を下支えする目的で策定いたします。分かりやすく言えば、計画の前提となる財政運営、行政組織、人材育成についてもしっかりと見直していきましょう。ということです。

特に私としては、変化の激しい社会情勢を先取りして政策を打ち、香美市民の幸せを実現するためには、香美市役所職員のレベルアップが不可欠であると思っております。議会の皆様方のご理解も得ながら、人材育成のための職員研修や職員視察の予算もお許し頂ければと思っている所です。

市長就任後、色々な場面でお話ししていることですが、ここ数年の、市役所職員の中途退職者が増えている現状について、何とかしなければと、私なりに努力をさせて頂いている所です。現時点での香美市は、市議会からの良いご提案があっても、マンパワー不足を原因にスピード感に欠ける面もあろうかと思いますが、新たな事業にチャレンジしていけるように、しっかりと組織を強くしてまいります。議会の皆様のご支援もよろしくお願いいたします。

次に、政治家として市政を担うために大事にしている3つのビジョンについてお話しします。この3つとは、「人づくり」「絆づくり」「夢づくり」というものです。詳しくは6月議会で述べさせて頂きましたので本日は触れませんが、私としては、この3つのビジョンを頭において、政策を実現させていきます。

また具体的な政策立案については「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」を掲げています。以下、本日提案の議案にも触れながらご説明をさせて頂き、議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力をお願いできればと考えております。

最初に、5つの基本政策の1つ目、経済の活性化についてであります。

長期化するコロナ禍に加え、食料品価格やガソリン価格の高騰などにより、市民生活にも大きな影響が出ているところです。市としては、先月23日から、香美市の加盟店で利用できる地域電子マネー「kamica」に現金をチャージして頂ければ、その金額の25%分をポイント付与する取り組みをスタートさせています。市民生活を少しでも下支えしたいという思いです。

また第2弾についても、10月下旬に実施するよう準備を進めているところです。

一方で、この取り組みを進める中で、デジタルデバイドという課題も出てきました。デジタル化になじめず、カミカを使えない住民について、サポートする仕組みが必要であるということです。この課題についても、解決策を検討し、取り組んでまいります。

長引くコロナ禍ではありますが、香美市の経済をしっかりと支えて行く為に、今後も国や県の補助金を有効活用して、取り組んでまいります。

次に基本政策2つ目の健康長寿の香美市づくりです。

香美市では、5か年計画である「第3期香美市健康増進計画」を策定し、「市民一人ひとりが生涯を通じて、心身ともに健康でいきいきと暮らし、未来につながるまちづくりを目指す」という基本理念を掲げ、取り組んでおります。本年は第3期計画の4年目となります。

聞くところによりますと、健康増進計画作成時には、香美市女性の平均寿命・健康寿命が、県下市町村中、最下位という状況であったそうです。現在は、関係者のご努力によって最下位は脱したとのことですが、今後も、私自身が先頭に立って、重点項目である血管病対策、自殺予防に力を入れていきます。

香美市の健康づくりに関する取り組みは、市長就任後に知ったことが多いのですが、その中でも頼もしく感じたこと2つについてお話させていただきます。1つ目は、健康づくり婦人会や、食生活改善推進協議会などの地域の皆様と一緒にあって、健康づくりに取り組んでくれていること。もう1つは、市の保健師達がアイデアを出しながら、効果的な取り組みを実践してくれていることです。

健康づくりに関しては、食育、生活習慣病対策、運動習慣の取り組みなど、総合的な対応が必要です。合わせて、第1期香美市自殺対策計画に基づいて行っている、自殺予防の取り組みにも力を入れなければなりません。

地域の皆様との連携をさらに強めるとともに、今年度新たに加わった4名の保健師の人材育成にも力を入れながら、健康長寿の香美市づくりに取り組んでまいります。

次に基本政策3つ目の教育の充実です。

香美市は、幼稚園・保育園から小・中・高等学校、高知工科大学。また山田特別支援学校と、全ての教育機関が揃う非常に恵まれた町です。私は、この特色を生かして、香美市を学園都市としてさらに成長させていきたいと考えております。

現在香美市では、平成26年に策定した「香美市教育振興基本計画」の後期計画4年目を進めています。私としては、掲げられた「探求」というキーワードを大切にして、子どもだけでなく、大人も含めた香美市民が、生涯にわたって学び続けられるよう、まちづくりに努めてまいります。

また香美市では、新たな時代を切り開くための人材育成ということで、ICTを活用した教育など、県下でも進んだ取り組みを行っております。私としては、小中学校、山田高校の生徒さんが授業の一環で行っている地域の課題解決の授業などを積極的に応援して、香美市ならではの学習の場を提供したり、高知工科大学と一緒にあってICTを活用しながら、課題解決に取り組むなど、地域を巻き込んで行う学校教育をしっかりと応援していきます。

同時に、IT 支援員さんの増員など、先生方が授業に集中できるような環境整備にも、努めてまいります。

私は、人が成長するためには、失敗を恐れずに、勇気をもってチャレンジすることが大事だと思っております。大人が、子どもたちのチャレンジを応援する機運をさらに醸成したいと思っています。そして子供たちの頑張りを発表する場を多く作るよう、意識的に取り組んでまいります。

次に、基本政策 4 つ目の市民を守る災害対策です。

今月 6 日に台風 11 号、18 日 19 日に台風 14 号と、立て続けに台風の接近がありました。私自身、市長として初めての災害対策本部設置でしたが、11 号に関しては幸いにも、4 日の市議会議員選挙への影響がなく、安心しました。また全国的な被害をもたらした大型の台風 14 号に関しては、市民や議員の皆様には大変ご心配された方もいらっしゃったと思いますが、風による被害が若干ありましたが、人的な被害はなく通り過ぎ、ほっとした所です。

災害に備え事前に避難所に避難して頂いた住民の皆さん、関係機関の皆さんに感謝申し上げますとともに、対応にあたってくれた職員にも、手前みそではありますが感謝いたします。

一方で、コロナウイルス感染症患者及び濃厚接触者が避難した場合の対応や、市議会議員選挙で、職員の人員が揃わない中での、避難所開設などについて、反省すべきこともいくつかありました。

市長として、どんな状況でも、市民の生命と財産を守ることが出来るようにと、人員参集について新たな仕組みづくりを指示した所です。

将来の南海トラフ地震発災も念頭に、今後とも取り組みを加速化させていきます。

最後に基本政策 5 つ目のインフラの充実と有効活用です。

先月 11 日に国道 195 号大栃橋開通式典が執り行われました。この新大栃橋の完成を機に、物部町の活性化に取り組む決意です。

その1つとして、旧大柵高校の利活用について、今度の市長会で、知事に要望することと  
しています。県が所有する建物ではありますが、香美市の指定緊急避難場所として設置もさ  
れており、香美市として有効活用しなければもったいないと思っております。地域活性化に  
つながる取り組みを呼び込むべく、チャレンジしてまいります。

続いて、4つの横断的な政策についてです。

1つ目は、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善です。

現在、国のマイナンバーカード取得促進についての方針に従い、香美市でも休日窓口の設  
置、出張受付会を開催するなど、取り組みを進めています。特に、マイナンバーカードの取  
得申請が必要なマイナポイントについては、締め切りが9月末から12月末までに延長され  
ましたが、香美市民から、知らなかったと言われないように、市職員と一緒にPR活  
動を行っている所です。

今のところマイナンバーカードの利便性は、まだまだだと私自身思っているところ  
ですが、社会のデジタル化の流れは、香美市のような中山間地域を抱える地域ほど必要性は高い  
のだと思っております。例えば、香美市には岡ノ内郵便局、安丸郵便局、繁藤郵便局など、  
市役所から遠い場所にも郵便局が沢山ありますが、マイナンバーカードを使って、住民票を  
交付していただくなどのことも、今後進めたいと思っております。

今後もマイナンバーカードを、住民が活用する場面は、着実に増えることと思  
います。市民サービス向上のためのマイナンバーカードの取得について、しっかりと取り組んでま  
いります。

2つ目は、中山間対策の充実・強化です。

人口減少が続く高知県において、中山間地域の人口減少が加速度的に進み、同時に高知市  
などへの人口集中も続いております。

行政運営を考えた時には、人口集中が進めば効率的であり、集落が点在していれば、非効  
率であるという考え方があります。中山間対策をやるのは、非効率で無駄だという考え方  
です。

しかし私は、長い歴史があり、先祖代々守ってきた集落が、戦後の数世代で消滅してしま  
うというのは、なんとももったいないと思っておりますし、何より残すべき価値があると思  
っております。

香美市にある歴史ある集落は、生活文化、伝統行事、食文化など、代々受け継がれてきた文化があります。なぜそういった集落独自の文化が継承されてきたかといえば、土地土地の特性に合わせ、人が無理なく快適に生活できるよう、先人が長い年月をかけて工夫を積み重ねてきたからです。

この歴史ある集落で、水と食料とエネルギーを確保して、生活してきた伝統的な営みは、今盛んに言われている環境にやさしい生活、カーボンニュートラルの生活そのものであると私は思っています。

私は、香美市の中山間集落に人を呼び戻し、集落の伝統文化の継承していくまちづくりは、世界が目指す持続可能なまちづくりだと確信をしております。

ICT 技術の活用も含めて、新たなチャレンジを呼び込みながら、香美市の中山間集落の再生のために、全力を尽くします。

3つ目は、こども施策の充実と女性活躍の場の拡大です。

6月に、こども家庭庁の法案が国会で可決され、来年4月に発足致します。香美市は、こども達に絶大なる人気を持つキャラクターアンパンマンを生み出したやなせたかし先生の生誕地であり、アンパンマンミュージアムがある町でもあることから、私自身、こども施策の充実にはしっかりと取り組む決意です。

この「こども家庭庁」の必要性は、日本の少子化の問題に加えて、児童虐待や貧困の面からの支援も必要であるとの認識から、国で議論されたものです。そのため香美市においても、こども施策については、福祉の面からもしっかりと支えなければならないと考えております。

特に、長引くコロナ禍の中で、親の所得が減少し、そのイライラが子供の虐待に繋がることは、何としても防がなければなりません。香美市を、もっと子育てをしやすい町にして、地域で子育てを応援していく町にしていきたいと思っております。

そして、来年度からの子供施策についての香美市役所の体制も含め、議会の皆さんにご意見頂いて、検討してまいります。

最後に4つ目の文化芸術とスポーツの振興です。

10月から、香美市公共施設予約システムがスタートします。私は、このコロナ禍の中にあって、人と人との繋がりが薄れているのではないかと、危機感を持っております。そんな中、この公共施設予約システムは、人との交流を促進し、文化芸術やスポーツを楽しんでもらうために、非常に役立つ取り組みだと思っております。

このシステムを市民にどんどん使って頂いて、香美市の施設を有効活用頂き、交流頂くことで、香美市の温かな人間関係を、あらためて活性化していきたいと思っております。

私としましてもこのシステムを積極的にPRして、施設の利用促進につなげ、今後とも文化活動やスポーツを楽しむ市民を応援してまいります。

以上、5つの基本政策と4つの横断的な政策についてご説明させていただきました。

次に、本会議に上程します議案について、提案いたします。

●議案第58号は、香美市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてです。

以上、議案1件の提案となりますが、議案の詳細につきましては、お手元の議案細部説明をご参照頂き、何とぞご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

以上であります。